



早いもので今年もう終わろうとしている。今年はみんなにとってどんな1年だったろうか。まもなく新年を迎えるが、今年1年を振り返ってよりよい年を踏み出してほしい。過去を振り返ることは自分を見つめ、向上させることにつながるが、それは学習においても大切なのだ。今回はそんな話から……

勉強しなくちゃいけないと思いつつ意欲が出ない人は、ぜひ読んでほしい。(再掲)

## やる気のスイッチをオンにするために……

### <子供たちを奮発させる秘訣>

富山県では小学六年生になると、全員が立山に登山するのだという。立山といえば北アルプスの一角で標高は3000メートルを超えている。途中までバスで行くとはいえ、登頂には大変な労力がかかる。

中間地点の休憩小屋に着いた時には、かなり多くの生徒がバテており、「疲れた。もう、帰りたい」と言う。その時、子供たちを励ますには、ある秘訣があるそうだ。

普通ならば「あそこにピークが見えるだろう。もうちょっとだから頑張ろう」と言うのだが、それではダメだという。先を見せると「え～、まだ、あんなにあるの……」となって逆効果になるらしい。では、どう言うのか。

「ほら下を見てごらん。乗ってきたバスがあんなにちっちゃく見えるだろう。ここまでよく頑張ってきたねえ。さあ、もう少しだ」これで全員の生徒が「よし頑張ろう！」と奮起するそうだ。

この話は実に示唆に富んでいる。

はるか下方の豆粒のようなバスを見ることで「こんなに登ってきたんだ」という達成感(喜び)と自信が生まれる。すると、「ここまで頑張れたんだから、もっと頑張れるだろう」「頂上に立てばもっと達成感があだろう」と思い、「よし頑張ってみよう」となるのだ。

つまり、過去を振り返ることで達成感と自信が生じ、それが意欲につながるのだ。

『16才の教科書』(講談社新書)にこんなことが書いてあった。(p206)

早く受験の苦しみから逃れたいという考えは、マイナスに作用するだけだ。そしてどうしても苦しいときには、自分の成長を確認するのが最もいい。去年の自分と比べてみたら、勉強のレベルも成長しているし、内面的にも成長している。先月は知らなかった単語を、こんなにたくさん覚えた。その喜びを噛みしめながら前進しよう。

例えば、一年前に使った教科書や参考書を見てみよう。きっと簡単に感じ、学力が伸びたことが確認できるだろう。この達成感と自信がこれからの意欲につながるのだ。

部活で頑張ってきた人が受験でもいい成果を残すというのも、部活動の実績が自信につながっているのだろう。



## 受験でやらかしました(汗) (毎年更新中)

**センター試験が迫ってきたが……「あと( )日しかない」ではなく「あと( )日もある」と思って、前向きに取り組もう。** 受験はメンタル面が大きく作用するので、意識して気持ちを落ち着かせた方がいい。受験は誰でも緊張するものだが、あせると思わぬ失敗をするものだ。以下は本校で本当にあった話……



**CASE 1** センター試験当日、学校に一番早く来た先生が生徒玄関にいる3年生を発見。「どうしたの？」と聞くと「受験票、教室に忘れて取りにきました」とのこと。その人は受験会場が近かったので間に合ったそうだ。

**CASE 2** 試験の前日、ある生徒が担任の先生に「すみません、受験票なくしちゃいました。ぼくの試験会場どこですか?」「あのな～」幸い、先生が全員の会場を控えていたので、無事受験できたとのこと。

**CASE 3** 私大の入試日。朝寝坊したA君は、何を思ったか駅に向かう途中、やってきたタクシーに乗って試験会場へ。「いや～、ギリギリで間に合いましたが、道が渋滞しててあせりましたよ。それにタクシー代が1万円もかかっちゃって」「……」電車の方が早く着けるのは当たり前。

**CASE 4** 指定校推薦で第一志望校に受かったBさんは大喜び。保護者も舞い上がってしまい、期限までに入学金を払うのを忘れてしまった。「先生、どうしましょう…」学校から連絡して、何とか許可してもらったが、一般入試ならまず無理だった。たまたま入学手続きで失敗する人がいるので要注意!

**CASE 5** C君はセンター試験の最中、エアコンの音が気になって試験に集中できず、試験が終わってから配慮してもらおうよう係員に要求した。しかし、騒音検知器で調べたところ既定の範囲内だったので、何の措置もされなかったとか。会場や座席の関係で万全のコンディションではない場合もあるが、気になったら試験前に言うこと。試験が始まったら、残念ながら我慢するしかない。

## 受験の頃は様々なアクシデントがあるので、準備は万全に!

3年生は冬休みの土日を使ってセンター試験の会場に行き、経路や時間を確認しておいた方がいい。 そうすると、当日落ちついて試験に臨むことができる。

ちなみに、今年の会場は5か所。絶対に間違えないように! 数字は人数。

**東京学芸大 13 一橋大(東) 36 一橋大(西) 94 津田塾大 14 東京経済大 82**

## 連絡

**1年生** 1/12(土)共通テスト模試 1/22(火)ベネッセ記述模試

**2年生** 1/8(火)新3年生スタート集会 1/20(日)センター同日試験

**3年生** 1/4(金)～7(月)センターマラソン 1/19(土)～20(日)センター試験

国公立を受験する人は、センターが思うようにできなかった場合のことを考えて、事前にシュミレーションをしておくこと。センターの結果が出てから「さあ、どうしよう?」では遅い。



## そもそもセンター試験て何？ 2年生必読！

### Q. なぜセンター試験を受けるの？

A. 大まかに言って以下の理由から。

- ・国公立大を受験するには必須。8割以上の私大にセンター枠がある。
- ・入試はまずセンターからというのが一般的。
- ・受験の機会が増えれば、志望校への合格可能性が高まる。安全校の確保もできやすい。
- ・一般入試の前にあるので、受験慣れができる。(これは大きい)
- ・私大の出願は、短冊のような成績請求票を願書に張り付けるだけでよい。つまり、一度センター試験を受けていれば、何校でも出願できる。もちろん、個別試験を受ける必要もない。(ただし、早稲田等、一部の大学では個別試験を課す場合もある)

### Q. センター試験で何点取ればいいの？

A. 国公立全体の受験者を見ると、合格者の平均は75%の得点率。5教科6科目800満点で600点前後。得点率60%強の500点前後から合格者が出始め、600点前後(75%)から急増する。農工大や学芸大を考えている人は75%は取るようにしよう。私大の場合は学部にもよるが、早慶上智で90%以上、MARCHクラスで80~85%はほしい。ただし、2~4教科型が多いので、早慶はともかくMARCHクラスならば努力次第で何とかなるはずだ。

### Q. 私大のセンター入試は？

A. 現在私大の8割以上にセンター利用枠がある。指定科目は2~4教科型が多く、願書を出すだけで何校も受験できる。ただ、出願がセンター前日までという大学が多いので、注意が必要だ。

### Q. 2020から実施される共通テストの影響はあるの？

A. 2年生の受験はセンター試験のままなので、共通テストとは関係ないようだが、浪人すると共通テストを受けなければならないため現役志向が高まり、厳しい受験戦争になることが予想される。そのため、高1、高2を問わず早めに受験勉強をスタートさせることが大切だ。

## センター試験と共通テスト、何が違うの？ 1年生必読

主な違いはこの3つ。

- 1 国語と数学で記述式の問題が出る。
- 2 試験時間が長くなる。
- 3 英語の配点が変わる。



**1について。** 現行のセンター試験は全教科マークシート方式だが、共通テストは国語と数学で記述式の問題が出題されるため、記述式問題でどれだけ点数を落とさないかが勝負のカギになる。

**2について。** 現行のセンター試験ではリスニング30分、国語80分、数学60分だが、共通テストはリスニング60分 国語100分、数学70分となる予定。



**3について。** 現行のセンターは英語の筆記200点、リスニング50点だが、共通テストではリスニングと筆記が同じ配点になる予定。

つまり、1年生は今までとは違う、共通テスト対策の勉強が必要になるということだ。

## 閑話休題 サンタはいるの？ 世界一有名な社説

今から100年ほど前のアメリカの新聞「ニューヨーク・サン」では、8歳の女の子・バージニアから「サンタはいるんでしょうか？」という手紙を受けた。新聞社は少女からの質問に答える形で社説を掲載し、それから50年間、毎年この返事が新聞に掲載されるようになった。(一部省略)



### <バージニアの手紙>

編集者さま: 私は8歳です。私の何人かの友だちはサンタクロースはいないと言います。パパは「サン新聞が言うことならそのとおりだ」と言います。どうか私に本当のことを教えてください; サンタクロースはいるのでしょうか?

### <社説>

お答えします。サンタクロースなんていないんだという、あなたの友達は、間違っています。きっと、その子の心には、今はやりの何でも疑ってかかる、うたぐりや根性というものが、染み込んでいるのでしょう。うたぐり屋は、目に見えるものしか信じません。

そうです。バージニア。サンタクロースがいるというのは、決して嘘ではありません。この世の中に、愛や、人への思いやりや、真心があるのと同じように、サンタクロースも確かにいるのです。

あなたにも、分かっているでしょう。世界に満ち溢れている愛や真心こそ、あなたの毎日の生活を、美しく、楽しくしているものなのだとすることを。

もしもサンタクロースがいなかったら、この世の中は、どんなに暗く、寂しいことでしょう! あなたのようなかわいらしい子供のいない世界が、考えられないのと同じように、サンタクロースのいない世界なんて、想像もできません。

サンタクロースがいなければ、人生の苦しみを和らげてくれる、子供らしい信頼も、詩も、ロマンスも、なくなってしまおうでしょうし、私たち人間の味わう喜びは、ただ目に見えるもの、手で触るもの、感じるものだけになってしまおうでしょう。また子供時代に世界に満ち溢れている光も、消えてしまうことでしょう。

たとえ、煙突から降りてくるサンタクロースの姿が見えないとしても、それが何の証拠になるのです。サンタクロースを見た人はいません。けれども、それは、サンタクロースがいらないという証明にはならないのです。この世界で一番確かなこと、それは、子供の目にも、大人の目にも、見えないものなのですから。

ただ、信頼と想像力と詩と愛とロマンスだけが、その、カーテンをいっとき引きのけて、幕の向こうの、たとえばもう美しく、輝かしいものを、見せてくれるのです。

サンタクロースがいらない、ですって?

とんでもない! うれしいことに、サンタクロースは、ちゃんといます。それどころか、いつまでも死なないでしょう。

一千年後までも、百万年後までも、サンタクロースは、子供たちの心を、今と変わらず喜ばせてくれることでしょう。

メリークリスマス!